

「八王子ビジョン 2022（2017 基本計画改定版）（素案）」意見募集の結果について

1. 実施期間：平成 30 年 1 月 15 日～2 月 14 日（31 日間）
2. 意見提出者：14 人
3. 意見数：96 件
4. 意見の分類：下表のとおり

分類項目	件数
総論について	4 件
各論について	59 件
現状・課題について	11 件
施策の展開について	28 件
目標設定について	20 件
その他	46 件
目指す姿について（基本構想部分）	1 件
個別事業に対する要望	27 件
基本計画の見直し以外の意見（中核市移行による生活への影響と実感、実施計画などに対する意見）	18 件

※意見には、複数の分類項目を含んだものもあるため、件数は上記 3 の意見数とは一致しない

5. 意見の概要と市の考え：下表のとおり

No.	項目	施策	寄せられたご意見（概要）	市の考え
1	地域コミュニティの活性化	1	<p>地域コミュニティの醸成は大きな課題だが、町会・自治会、「はちおうじ志民塾」、市民センターの充実が挙げられているのみ。市民センターが地域コミュニティの拠点となりうるのか実態を調査すべき。この視点を施策の展開に入れてほしい。</p> <p>目標設定は、市民センターの利用率は、趣味の会などの利用を除く、地域コミュニティに資する利用に限定して統計をとることを提案する。</p>	<p>市民センターは、コミュニティ活動を醸成し市民相互の親睦と福祉の向上を図る目的で設置しており、サークル活動・レクリエーション活動などを通じ、ふれあいを深め、仲間づくりを行う交流の場として利用されています。趣味の会につきましても、その活動により、住民同士の交流によるつながりが育まれており、地域コミュニティの活性化に繋がるものと考えています。今後の参考とさせていただきます。</p>
2	いちよう祭りでのイベント	1	<p>いちよう祭りで银杏拾いイベント等をするのはどうか。</p>	<p>いちよう祭りは、八王子いちよう祭り祭典委員会が主催しており、いただいたご意見は、同祭典委員会へ</p>

				<p>情報提供させていただきます。</p> <p>なお、基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。</p>
3	市民活動の支援	1	<p>施策の展開は、「地域に身近な拠点事務所において団体活動を支援する機能を充実し、多様な連携やコミュニティ活動の支援を行います。」など、市民活動支援のニュアンスがもう少し伝わるような表現にしてほしい。</p>	<p>これまで拠点事務所では、地域の町会・自治会と連携して「地域活動紹介コーナー」を設置し、地域コミュニティ活動の活性化に努めてきました。引き続き地域の特性に合った連携を推進していくため、このような表現としています。</p>
4	八王子志民塾	1	<p>「はちおうじ志民塾」は地域の活動の担い手を育成しているが、市の講座として、より一層の認知度向上のための発信が必要。現状・課題に、「多様な人材の育成」といった文言を追加してほしい。</p>	<p>ご意見を参考に、文言を追加しました。</p>
5	「はちコミねっと」の追記	2	<p>施策の展開の「様々な市民や団体と市との協働をさらに推進するため、市民活動支援センターのコーディネート機能の強化や市民活動に関する情報発信を充実します。」に「はちコミねっと」の記述を追加し「・・・機能の強化やはちコミネットの利用利便性を高め、地域コミュニティを応援する情報発信・・・」としてほしい。</p>	<p>ご意見を参考に、文言を追加しました。</p>
6	市民参加	2	<p>現状・課題において、「「市民参加条例」に基づく取り組みをすすめ、多様な世代の市民参加をさらに推進する環境づくりが必要です。」とするなど、単に「市民」というよりも、老若男女、子どもの参画も含め、「多様な世代」などオール八王子感を出してほしい。</p>	<p>ご意見を参考に、文言を追加しました。</p>
7	市民参加	2	<p>施策の展開に、「学生の審議会などへの参加を積極的に促進する」との項目がある。「市民の審議会への参加の機会と数を増やす」という項目もあって良いと思う。</p>	<p>市民参加につきましては、施策の展開「市民参加の推進」として、その取組の方向性を示しています。基本計画は、取組の方向性を示すものでありますが、学生の参加促進につきましては、学園都市の特性をまちづくりに活かしていく視点から、より具体的な記載としています。</p>
8	市民と行政の協働	2	<p>市民と市との協働に関する意識のギャップがある。市民提案制度</p>	<p>市民と行政の協働をさらに推進していくには、市民活動の活性化に向</p>

			<p>を作り上げ、お互いを評価しながら、より良い関係を築く必要がある。そのことに対する方向性が示されていない。現状・課題に書き込むべき。「市民と市との協働を推進するためには、市と様々な団体や企業が一体となって地域の公的サービスなどを担っていく仕組みづくりが必要です。」との素案内容は唐突に企業がでてきて、分かりづらい。</p> <p>目標設定は、追加された「市民協働によるまちづくりに参加している市民の割合」を評価する。</p>	<p>けた仕組みの充実や、協働のパートナーである町会・自治会、市民活動団体、企業等の連携が必要と考えています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
9	地域の課題解決に向けた仕組みづくり	2	<p>施策の展開に、「様々な市民や団体が地域の課題解決に向けて活動しやすくなる仕組みを充実します。」とあるが、あまりにも抽象的すぎる表現。「地域委員会の設置など」とかを付け加えてほしい。</p>	<p>地域の課題解決に向けて活動しやすくなる仕組みの充実については、今後、地域のご意見も伺いながら検討していく必要があります、このような表現としています。</p> <p>また、基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、ご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。</p>
10	市の考える「協働」	2	<p>未だに「市民が行政に協力するのが協働である」という古い考えが残っているように思える。行政の事業と関係ないところでも、まちの問題解決や盛り上げ活動をする方はいる。これからのまちづくりでは、その人たちの割合を増やすことこそ重要。</p>	<p>「八王子ビジョン 2022」では、市民と行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を柱の一つとしています。いただいたご意見を踏まえ、引き続き、協働のまちづくりを推進していきます。</p>
11	市民活動団体の支援	2	<p>協働を進めるためには、市民や活動団体の活動資金面の支援も大切な課題。ふるさと納税をつかった寄付や市民ファンドなどの整備が必要ではないか。</p> <p>現状・課題では、「市民や団体との協働をさらに推進するためには、市民活動支援センターの機能を充実し、市民活動を広く市民が支える多様な寄付制度の仕組みづくりが求められています。」といった記載としてほしい。</p>	<p>ご意見を参考に、市民活動支援センターの機能強化と市民活動を市民が広く支える仕組みづくりについて文言に追加しました。</p> <p>寄附制度につきましては、市民活動を市民が広く支える仕組みの一つであると考えますが、具体的にどのような仕組みづくりが必要か、今後、検討していきます。</p>
12	市民と行政の協働	2	<p>追加された目標設定『「市民協働によるまちづくり」に参加している市民の割合』は「市民協働によ</p>	<p>「市民協働によるまちづくり」の現状値は、市政世論調査にて把握しており、「市民と市が協力して行うま</p>

			<p>るまちづくり」をどのように捉えるかによって数字が変わってくると思う。現状値 10.9%はあまりにも低い。これは行政との関わりを協働のまちづくりと捉えているからではないか。地域課題解決のためのボランティア活動や、地域を盛り上げるための行事への参加も「市民協働によるまちづくり」と捉えると、この数値はもう少し違ってくると思う。</p>	<p>ちづくり」に限定した調査としております。市民の皆様が行政と関わりなく、主体的に取り組む様々な活動も、「市民協働のまちづくり」であり、いただいたご意見を参考として、現状をより正確に把握できるよう努めていきます。</p>
13	市民参画	2	<p>市民は問題意識を持っているが参画できていない。各施策の中に市民がそれぞれ参画していけるような働きかけが重要。そうした活動の中で、年齢も様々で、障害の有無や住民としての新旧にもこだわらず、海外からの住民も含めて、「一緒にまちを作っていく」という市民の当事者性が育っていくものと思う。そのためには、施策の中の課題をみんなで考えるワークショップを頻繁に行うなどできないか。</p>	<p>ご意見のとおり、市民の皆様の日常の問題意識を市政への参加につなげていくことは重要であり、市民参加条例に基づき取組をさらに推進していくことが課題と考えています。</p> <p>なお、基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、ご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。</p>
14	市政情報の発信	3	<p>積極的な市政情報の発信については不満。ホームページ、広報などでは市民が情報を的確に知る状態に至っていない。現ホームページは必要とする情報が容易に見られない。検索しても必要な事項にヒットできない。また、地域に係る重要な案件については、ホームページや広報による情報発信に限定せず、事務所での縦覧や町会回覧など、市民に情報が伝わり易い工夫が必要。また、情報発信に関係した目標設定の数値の算出基準がわからない。平成34年度で60%の達成はとても積極的な市政情報とは言えない。</p>	<p>広報紙やホームページは、市に寄せられる意見や市政世論調査の意見を基に随時見直しを行っています。また、事務所での縦覧や町会での回覧については、より効果的な方法を検討する必要があると考えています。今後も、より市民に伝わりやすい情報提供に向け取り組んでいきます。</p> <p>なお、目標設定につきましては、市政情報が適切に分かりやすく提供されていると感じている市民の割合を増やすもので、市政世論調査の実績を基に設定しております。目標値は現状値と比較すると高い数値となっており、目標値の達成に向けて積極的に取り組んでいます。</p>
15	シティプロモーション	3	<p>シティプロモーションにも協働的な視点を加え、現状・課題の文言を「・・・とともに、市民と共に新たな魅力・・・」としてほしい。</p>	<p>ご意見を参考に、文言を追加しました。</p>

16	シティプロモーション	3	施策の展開の末尾に、「八王子の魅力や誇り」を発信できる市民の割合を高める」という表現を加えてほしい。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
17	シティプロモーション	3	八王子市の対外アピール戦略に違和感がある。「八王子には自然がいっぱい」とアピールをしているが、それは若者を呼び込むには逆効果。若者は田舎的、自然が多いところよりも都会を好むため、八王子が都会的で利便性が高い面をもっと強くアピールすべき。	本市の特長は、「都市部でありながら、豊かな自然が身近にあるバランスのよさ」であることから、若年層に対しては、その特長とともに、利便性の高さについてもアピールしていきます。
18	シティプロモーション	3	第1編、第5編などでブランド作りという文言を目にした。都市としてのトータルなブランド作りは非常に重要。それは、単に「八王子ブランド」を自認して商品などを紹介することより、八王子市の活動分野全体としてのブランドづくりが重要ではないか。	本市の様々な資源を有機的に結び付けていくトータルなブランドづくりは、シティプロモーション戦略として重要なことと認識しています。平成30年度には、ブランドメッセージの制作や戦略策定に取り組んでいく予定です。
19	近隣自治体との相互利用	4	近隣自治体との相互利用は、公共施設だけでなく、公共交通（ミニバス）も推進検討してほしい。	「はちバス」をはじめ近隣市で運営するコミュニティバス（乗り合いバス）は、どこにお住まいの方も利用可能です。 基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
20	市民サービスの向上	4	市民の声だけでなく、それが市政への反映につながったかという指標を目標設定にすべき。改善されている実感がなければ、アンケートに答える意欲がわかなくなる。また、総合受付で、どのような会議が行われているのか、という情報は一目瞭然に分かるようにすべき。	市政への提言等で寄せられる「市民の声」については、短期的に実現できるものもありますが、地域の合意形成が必要なものや、長期的な視点で市政運営の参考としていくものもあり、「市政への反映」という一律の基準を設定することは難しい状況です。 アンケートについては、結果をホームページ等で公表し、どのように活用したかをお示ししています。市政に参加された方が、また参加したいと思えるように引き続き工夫を重ねていきます。
21	中核市移行後の効果	5	基本計画の策定前後と現状を比べると、中核市や100周年記念事業といった言葉や表現が様々な情報に多用されているが、中核市に	行政サービスの効率化・スピードアップ化に加え、中核市移行による権限を活用し、屋外広告物の規制・誘導のための地域ルールづくりや、

			<p>なり何が変わり、市民生活にはどんな好影響が生まれてきたのか、市民には実感として伝わってこない。100周年記念行事には相当な税金が投入されたが、地域の狭隘な道路や生活環境は一向に解決されていない。また、行政と市民の評価には隔たりが感じられる。</p>	<p>沿道集落における住民主体のまちづくり支援、小中学校の教員に対する独自の研修などを行っています。</p> <p>市民の皆様が中核市移行の効果を実感できるよう、今後も独自の条例やルールを定めるなど、本市の特性を活かしたまちづくりを行っていきます。</p> <p>なお、今回の改定では、中核市の権限を活用した主な取組を冊子に掲載しました。</p>
22	地方分権の推進	5	<p>地域の課題を解決できる自立した都市になるために、政策立案過程や、政策条例制定過程において、市民が参画する機会を増やすことが必要。施策の展開にもこの要素を取り入れてほしい。</p>	<p>中核市としての権限を有効に活用し、市民の意向を反映した本市独自のまちづくりを進めるため、政策立案段階における、より効果的な市民参加を推進していきます。また、政策の立案段階から、実施、評価段階までの一連の過程で幅広く市民の参加を求め、多様な意見の反映に努めます。</p> <p>なお、その方向性としては、施策2「市民と行政の協働」の「市民参加の推進」で示しています。</p>
23	PPP手法	6	<p>目標設定に「追加・PPP手法を活用した件数」を追加</p>	<p>「PPP手法を活用した件数」を目標設定に追加することについては、PPP手法は事業の特性に合わせて活用を判断するものであるため、適当ではないと考えています。</p>
24	基本計画の具体的取組の明示	6	<p>経験豊かなシニア層と新しい活力ある青年層との機能性有機的活性組織化による先鋭的・多面・多段的実行展開により基本計画・各編で成果を上げるべく、他に先だつた先鋭的挑戦的な実行具体案をもって明示すべき。特に基本計画で書かれている施策を実のある実行成果に繋げる、他に先だつた先鋭的挑戦的な具体政策が乏しいため、具体的挑戦計画を示すべき。</p>	<p>基本計画では、各施策の「目指す姿」の実現に向けた「施策の展開」など方向性を示しています。この方向性に基づいた具体的な取組については、毎年度策定するアクションプラン（実施計画）で示しています。</p>
25	行政評価	6	<p>現状・課題の施策の評価については、今までは自己評価や外部評価委員の評価などを踏まえていたが、市政世論調査に偏った評価になっている。事務事業評価を実施して公表すべき。フルコスト分析だけでは、施策の質・内容が把握できないので問題がある。施策の</p>	<p>施策評価は、基本計画の指標の進捗管理のため、マネジメントサイクル（PDCA）の中で実施しています。また、指標の実績はアクションプラン（実施計画）に掲載し、公表しています。</p>

			展開の計画行政の推進にしっかりと書き込むべき。	
26	実施計画	6	実施計画は各年度に重点項目を掲げて、メリハリのある、より具体性を持った先鋭的・創造力あふれる挑戦的な実行計画を立案すること。	「八王子ビジョン 2022」に定めた6つの都市像（私たちが目指すまち）を実現するために定めた49の施策を計画的・効果的・効率的に推進するための主要事業を示すアクションプラン（実施計画）を毎年度策定しています。いただいたご意見は、アクションプランの策定にあたっての参考とさせていただきます。
27	指標について	6	目標設定は、全体的に、施策目標の達成度を測るのに最適とは思えない指標設定が多い気がする。	指標については、各施策の「目指す姿」を見据えて、複数の指標や定性的・定量的な指標を設定するなど、極力施策全体を網羅できるよう心掛けて設定しています。今回の改正では、すべての指標や目標値の妥当性を検証したうえで、施策の進捗状況がよりわかりやすくなるよう、21項目の指標を追加しました。
28	組織横断的な取組	6	これからは多様な課題に部門を超えた施策が求められている。行政において権限や予算を組織横断的に執行できる部門、権限が必要。縦割り行政の解消に係る記述をどこかに入れたい。	施策7「人材の育成と活用」の「施策の展開」2において、「組織横断的な視野を持ち政策に反映できる職員の育成の充実」を掲げています。
29	人材の育成	7	施策の展開に「能力や実績に応じた人事評価に基づいた適切な処遇を行う」としているが、公務員の場合、この点を強調しすぎることはいかがとを感じる。横断的な視野と関心を持ち、仕事に生かせる人材の育成を期待する。	現状・課題は、地方公務員法の趣旨に則り記載しております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
30	人材の育成と活用	7	目標設定の現状値が高い。良いことだが、そうであるならば、指標とすること自体意味があるのか。この現状値の根拠は何か、職員の能力開発意欲や、能力・努力が評価される職場だと感じている職員の割合を測るなどにした方が良いのではないか。	指標の現状値は、研修後の職員アンケートで測っており、高い水準の維持を目指していきます。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
31	人材の育成と活用	7	目標設定「研修で学習した知識・スキル・考え方を業務に活かすことができると実感できた職員の割合」などは、推測するに研修後の職員へのアンケートを基にしたものと思われるが、すでに十分	指標の現状値は、研修後の職員アンケートから算出しております。高い水準の維持を目指していきます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

			高い数字で、これを100%にする意味がよくわからない。低いより高い方がいいのは当然として、現状から4.9%向上することが目指す姿の実現の表れと言えるのか。職員の能力開発意欲や、能力・努力が評価される職場だと感じている職員の割合を測るなど、目指す姿とリンクした指標は他にもあるのではないか。	
32	「核兵器廃絶」の明記	8	核兵器廃絶を施策の展開に明記することを提案する。今、緊急課題になっている「核兵器廃絶」の大切さを強調することが大切。八王子市が加盟した平和首長会議では、2003年秋に2020年までの核兵器廃絶を目指す行動指針「2020ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」を策定し、核兵器廃絶に向けた様々な活動を展開している。2022年をめざす「八王子ビジョン2022」は2020年をめざす平和首長会議の「2020ビジョン」と重なる期間。そういう点からも「核兵器廃絶」を明記することを提案する。	本市は世界連邦平和都市宣言及び非核平和都市宣言をしています。この精神に則り、核兵器のない世界の実現に向けて平和事業を推進し、平和の大切さを伝えていきたいと考えています。
33	LGBTとワークライフバランス	8	現状・課題に多様な性の在り方として、LGBTへの言及がない。施策の展開として人権意識の醸成のなか書き込んでほしい。 目標設定として、ワークライフバランスの実現感を問うのではなく、具体的な改善指標として、週60時間以上働いている雇用者の割合とか、性別役割分担意識の解消率などにしてほしい。	LGBTは人権問題の一つと捉えており、個別計画の中で検討を進めます。また、目標設定は、事業全体の効果を市民の実感として把握する現在の指標が妥当と考えています。
34	外国人との共生	9	海外からの来・在日外国人の方々を積極的に組み入れた社会システムを構築すること。その状況を世界に情報発信すること。	増加する定住外国人市民の社会参加の推進や外国人観光客の受け入れ体制の構築については、個別計画に掲げています。いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
35	生活困窮者と子どもの貧困	9	施策の展開で用いられている「生活困窮者の早期発見」という言い方は止めてほしい。多重債務や滞納などに対する間口の広い相談によって、生活に困りごとを抱えている世帯の応援が必要。また、	生活困窮者自立支援法に基づき、全国的に開始された生活困窮者自立支援制度は、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間にいた方（世帯）を対象としており、早期発見と包括的な支援が柱となっているため、こ

			<p>子どもの貧困については、第3編で扱うべきであり、普遍主義で行うべき課題。</p>	<p>の言葉を用いています。また、様々な課題を抱える相談者の入口として、多重債務や滞納の問題を含む様々な相談に応じ、庁内外の関連機関につなげるなど連携し、支援をしています。</p> <p>子どもの貧困については、家庭の経済格差が子どもに大きな影響を与え、将来を狭めたり歪めたりしてしまうことで、子どもが貧困の連鎖に捕らわれてしまうことがあります。そのため、子どもが家庭の経済的状況に左右されず、社会的、経済的に自立することができるように行政として支援を行うという視点で、2編に掲載しています。なお、対策については、ご意見のとおりであり、2編に限らず施策を横断して取り組んでいます。</p>
36	社会保障制度の適正な運用	10	<p>現状・課題で「介護保険について、サービスの適正化・重点化の推進が必要です」と書かれているがこれは国の方針であり、八王子市も重点化の推進を進めるのかどうか共有されているわけではないので書き込むことを避けるべき。また、「雇用・所得環境の好循環により、生活保護の受給世帯は横ばいから減少している」という記述に関して疑問。</p> <p>目標設定は、就労はハードルが高いので、中間的就労への参加者、継続期間など設定してはどうか。</p>	<p>介護保険については、被保険者が負担する介護保険料の上昇を抑制し制度の持続可能性を確保するためにはサービスの重点化も必要と考えております。</p> <p>また、生活保護については、様々な要因により、生活保護申請にいたっていない生活困窮者が存在することは認識していますが、都内の有効求人倍率が上昇している点や、平成24年度から生活保護受給者が減少している実態を捉えて記述しています。</p> <p>目標設定については、中間的就労（就労訓練事業）が、個々の方の状況に応じ、ステップアップを図っていく制度であることから、指標としてなじまないため、就労による保護廃止世帯数を指標として設定しております。</p>
37	市役所職員の高齢者ボランティア・ポイント制度への登録	11	<p>市は協働のまちづくりを掲げているが、市役所職員はどのように考えているのか。目標設定に「高齢者ボランティア・ポイント制度登録者数の目標（H34 3,600人）」を掲げているが、市役所の職員（嘱託職員含む）全員が登録すれば、30年度中に達成する。登録するだ</p>	<p>「八王子ビジョン 2022」では、市民と行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」を柱の一つとしており、この協働は市政運営の基本となります。</p> <p>なお、高齢者ボランティア・ポイント制度の登録要件は市内在住の65歳以上の方（要支援・要介護、事業対</p>

			けでなく、年間 20 ポイントを目標にするなどで、大いに盛り上がると思われる。	象者を除く)となるため、原則的に市職員は要件にあてはまりません。
38	シルバーサポーター制度	11	今ある仕組みとして、シルバー人材センターのシルバーサポーター制度がある。この仕組みの活用を充実させてほしい。目標設定にシルバーサポーター利用件数を導入してほしい。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
39	寄付・ボランティアシステム	11	寄付・ボランティアシステムを構築・機能化し、窓口を設置、機動的に社会システム化して稼働させること。	寄附受入制度としては、ふるさと納税制度を活用して取組を行っています。 ボランティアシステムについては、社会福祉協議会のボランティアセンターが窓口となり、ボランティアの活動支援を行っています。また、赤い羽根共同募金などを活用し、地域福祉活動の支援に努めています。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
40	障害者との共生	12	身体障害者・発達障害者・健常者達が互いに触れ合い学び助け合う社会を描き、これを推進し、あるべき一般社会の姿を実現すること。必要な社会システムとして組入れ機動化すること。	個別計画である「障害者計画」の基本方針に位置づけて取り組んでいます。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。
41	障害者の実感	12	目標設定は、健常者の意識ではなく障害がある人がどう感じているのか、という指標にしてほしい。また、障害がある人へ、どういった配慮や行動を行ったのか、ということが大事だと考える。	施策 12「障害者への支援」の目指す姿は、「地域住民と障害者がともに支えあいながら暮らす」としており、障害のある人となない人が共に安心して暮らせる八王子とするためには、「市民の障害への理解」が必要であると考え、目標を設定しています。 なお、障害者がどう感じているかは大事な視点であり、個別計画である「障害者計画」を作成する際には障害のある方を対象に調査を実施しております。
42	高齢者施策	13	高齢者介護関係で、リハビリに農業ボランティアをしたり、平日・昼間に空いているカラオケ店を安く開放するクーポン券発行してはどうか。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
43	高齢者への支援	13	目標設定「介護保険サービス利用者の満足度」は、曖昧なため具体的な指標にすべき。また、高齢者あんしん相談センターへの相談	介護サービスは、市でなく介護サービス事業者から提供されることから、社会保障制度として被保険者に信頼され、安心して利用可能である

			件数は、多いのか少ないのか、高齢者人口比で表してほしい。	かを確認する指標として利用者の満足度は適切であると考えています。また、相談件数については、市民ひとりにつき複数の相談を受けることもあることから、ここでは、延べ件数を目標値としています。高齢者人口比は、ひとつの指標と考えますので、今後の参考とさせていただきます。
44	自殺者対策と動物愛護	15	若年層の自殺者が多いということは憂慮すべきことであるため、現状・課題に書き込んでほしい。また、施策の展開には、保健所を中心として、精神の人に対するチーム訪問対策などが始まったところなので、さらなる展開を求める。動物愛護に関して、殺処分ゼロを目指す方向性を書き込んでほしい。	自殺対策については、平成30年度に自殺対策計画を策定する中で、現状と課題を分析し、総合的に自殺対策の推進を図っていきます。また、精神障害者に対する支援については、引き続き医療機関等との連携を図りながら推進していきます。 また、動物愛護については、殺処分減少に向けた取組として、市では持ち込まれる犬猫を減らすことを目的に、飼っている犬猫の適正飼養や終生飼養、市民の動物愛護精神の醸成に力を入れています。なお、殺処分については、その判断も含め現在東京都に委託していますが、今後進める動物飼養施設の整備検討と合わせて整理します。
45	「非行、ひきこもり、就労」の記載	17	いずれの問題も家庭との連携が欠かせない事象であることから、この内容は施策の展開「1.子育て支援」7項でも、「ひとり親家庭や、非行、ひきこもり、就労など、子育てに困っている家庭への適切な支援を行います。」と言及することがより効果を発揮しやすい施策になるものとする。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
46	「人とのつながりを大切にする心」の記載	17	施策の展開において、『人とのつながりを大切にする心』を持った子どもを育成します』の一文を削除せず、「・・・安心して成長できる環境づくりを進めるとともに、『人とのつながりを大切にする心』を持った子どもを育成します』としてほしい。	施策17「子育て・子育て支援の充実」の目指す姿にある「未来を担う子どもたちが尊重され」に対応する施策としております。「人とのつながりを大切にする心」を持った子どもの育成については、施策18「地域で子どもを育てる環境づくり」の施策の展開で方向性を示し、各分野において総合的に進めていきます。
47	「規範意識」の修正	19	現状・課題で、「規範意識」という用語が使われている。現行計画にある「基本的な倫理観」を見直	「規範意識」とは、単に倫理や規範を守るのではなく、社会における様々なルールや、人間性、社会性

			<p>した表現と思われるが、いずれの表現も現在存在する倫理や規範を守ることを基本に据えたものと捉えられ、これでは指示待ち族や自分の意見を持たない大人の量産に歯止めがかからない。そして、そうした人々が豊かな人間性や社会性を備えた大人といえるのかどうかは、はなはだ疑問。豊かな人間性、社会性を身に付けていくうえでは、「規範意識」よりは、グローバルコンピテンスである「多様性を認められる意識」を選ぶほうが、目的に適っていると考える。</p>	<p>を身に付けていくことを表していると考えております。</p>
48	「社会のルール」の概念を踏まえた表現	19	<p>施策の展開にある、社会のルールといわれるものの中には、その時代や社会にフィットしたものもあれば、過去の社会での慣例を引きずり続けているものもある。社会のルールは、変化に応じて変えていくことも必要であることから、「基本的な社会のルールを身に付け」という部分を「多様な意見を認められるようになり」としてはどうか。</p>	<p>ご意見を参考に、文言を追加しました。</p>
49	「自立」の概念を踏まえた表現	19	<p>施策の展開にある、「自立」の概念は、2011年の素案策定市民会議の際には「働く意味」を見いだせないまま大人になっていく傾向を憂慮して、社会の役に立つことを意識できるように誘うという意味での「自立」であった。しかし、この閉塞的な社会状況を見たとき、概念をもう一步進めて「社会をつくっていくことができる」、「社会を変えていくことができる」といったニュアンスも含めていく必要性が出てきているように思う。このことを踏まえて、「社会で起きている事象について意見を交わす機会を充実させることで、身の周りに起きていることへの関心が高く、状況の変化に応じて自ら学ぶことができ、自分自身で考えて行動できる大人へと成長していけるような教育を推進します」としてはどうか。</p>	<p>「自立」とは、働く意味を見出すことだけではなく、働くことで社会性や自己有用感を得ることができ、それが自立につながっていくと考えております。</p>

50	特別支援学級	19	現状・課題の記述を踏まえると、施策の展開で「また、特別支援学級の適正な配置をすすめます」という部分が削除されているのは、削りすぎの感がある。「また、小学校への特別支援学級の全校設置を完了させるとともに、中学校への適正な配置をすすめます」とするのが自然と考える。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
51	学校図書館	19	学校図書館に関する記述がない。八王子市では、市内全小中学校への学校司書の派遣を行っており、子どもたちの読書に親しむ習慣づくりを支えている。そこで、「学校図書館の資料充実とともに、学校司書のさらなる配置を進めます。」と明確に示すことが妥当と考える。	学校図書館については、平成 28 年度には全校に学校司書を派遣し、学校図書館及び児童・生徒の読書活動の支援に努めています。今後は、こうした体制を活用し、市立図書館との緊密な連携により、子どもを含めたすべての市民の読書活動を促進する意図で施策 22「市民がつながる生涯学習」の図書館機能の充実に記載しています。
52	学校コーディネーター、学校サポーター、教育支援ボランティア	20	施策の展開で、学校コーディネーター、学校サポーター、教育支援ボランティアが同じ位相で、ともに地域と協働して子どもを支える担い手というくりなのか疑問。整理してほしい。	学校コーディネーターや学校サポーター、教育支援ボランティアなど、市民の皆様がそれぞれの役割を担い、協働して子どもたちを見守り、支え、育てていく環境の整備を目指しているため、このような表現としています。
53	地域運営学校	20	地域運営学校の展開が進んでいるため、次のステップを意識して、施策の展開にある「地域運営学校を推進します」という表現を「地域運営学校を推進するとともに、既存校では質的な充実を図ります」としてはどうか。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
54	校務負担の軽減	21	校務を支える ICT の導入が進み、情報共有による補助テキストの作成やクラス運営に必要なお知らせ文書の作成などの面で、校務負担の軽減が始まりつつある。また、アシスタントティーチャーの配置、学校コーディネーターなど地域人材による支援によって本来の教育にかけることのできる時間を捻出するための基盤が整備されつつある。今後、他の業界のモデルとなるパフォーマンスの高い学校教育の実現に向けて、施策の展開の文言を「教員が児童・生徒の	ご意見を参考に、文言を追加しました。

			教育に十分な時間を割けるよう、さまざまな観点から教員の働き方改革を進め校務を支援し、校務負担の軽減をはかります。」と修正することを提案する。	
55	学びやすい教育環境づくり	21	現在の目標設定は非常にあいまい。保護者と教師とのコミュニケーションが図られているかどうかではないかと考える。	施策 21「学びやすい教育環境づくり」の目標設定は、学びやすい環境を子どもが落ち着いて学習できる雰囲気であることとして設定しております。
56	図書館内施設の充実	22	図書館に食事スペースを確保して欲しい。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、関連所管で情報共有し、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
57	市制 100 周年記念事業のレガシー	24	記念事業の終了に伴い、市制 100 周年事業のくぐりぐりが削除されているが、重要な施策箇所として次のような記載を要望する。 現状・課題は、「市制 100 周年記念事業のレガシーを大切に活かしていくことが、新たな 100 周年に向かう本市の市制運営の基本となった。」 施策の展開は、「八王子の次の 100 年に向けて、市制 100 周年記念事業を通じて得られた多くの成果や目指すべき施策のさらなる推進をはかる。」	市制 100 周年記念事業のレガシー継承は、個別の施策ではなく全体にかかわる取組であることから、総論部分において明記しています。
58	「博物館」の明記	25	施策の展開において、新設する施設の名称が新郷土資料館という呼称で表現されているが、昨年公表された「新郷土資料館基本構想素案」では、新郷土資料館の基本理念に「八王子の歴史・文化を探究し、広く継承・発信するとともに、未来へ向けて市民・地域との協創を育む博物館」と示している。新郷土資料館が「博物館」を目指していることが明確に分かる表現にすべきと考える。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
59	「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承」の目指す姿	25	目指す姿は現在の文言の意味合いをさらに昇華させた表現として、「文化・歴史・伝統の学びを通じて、誰もが八王子に誇りと愛着、そしてこの地に暮らす喜びを感じ	「目指す姿」は、基本計画の根幹部分となることから、今回の見直しの対象外としています。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

			じ、八王子の歴史と伝統文化が次世代へ継承されています」とすることを望む。	
60	市民が誇れる歴史と伝統文化の継承	25	施策の展開の3において、「また、」以降の表現は、既知の歴史や伝統文化を対象としている。しかしながら、歴史や伝統文化は、常に新しく発見、発掘される性質のものであり、八王子市が発祥の下原刀などはその一例と考える。このことから、「また、既知の歴史や伝統文化の調査・研究に限らず、これらを新たに発掘することも含めた調査・研究など機能の充実をはかり、その成果を発信します。」との文言修正を提案する。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
61	文化遺産の継承と保存	25	文化遺産の継承と保存については、旧高尾博物館のように学術的な収獲物と歴史的な収獲物を保存できるものがよい。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
62	開発許可権限	27	開発許可権限の良心的使用を希望する。川口丘陵の区画整理事業のようにすでに何十年もまえに貴重な緑地であることが分かり、開発によって失われるものが多いことが分かっているにもかかわらず、何度も開発計画を繰り返してきたから今回もまた実現することはないと考えていた地元の人もいる。反対意見もあり、土砂災害危険な区域であることが分かっているにもかかわらず事業決定した。元八王子のサッカー場建設においても貴重な林や谷戸を生かせるような慎重な検討が必要。	開発行為の許可にあたっては、法令や審査基準に則り、適正な審査を行います。また、関係所管と連携を図り、地形や環境を考慮した指導に努めてまいります。 また、川町のスポーツパーク建設計画に関しては、民間事業者による開発事業ですが、都市計画法、東京都自然保護条例その他の関係法令に則り、適正な手続きを踏んだうえで進められているものと認識しております。
63	計画的なまちづくり	27	目標設定「住み続けたいと思う市民の割合」については、施策の評価に合致しない。計画的なまちづくりに関して、市民へ十分な説明がなされているか、市民を巻き込んだ計画・まちづくりになっているかどうかを判断できる指標にすべき。	「計画的なまちづくり」による地域の多様性を活かしたまちづくりは、市民のまちへの愛着度を高めるものと考えており、「住み続けたいと思う市民の割合」はそれを表す指標として妥当と考えております。なお、市民協働の取組を測る指標については、施策2「市民と行政の協働」で設定しております。
64	八王子インター隣接地の商業施設	27	にぎわいが期待できるため、八王子インター隣接地に予定されているイオンモールをアウトレット	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別

			モールに変更してほしい。「アウトレットモールと高尾山」、「アウトレットモールと滝山城」、など多くの観光資源開発を行うことができる。	計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
65	八王子医療刑務所跡地の活用	27	八王子医療刑務所跡地は、にぎわいを創出するため、高層オフィス化し企業の本社や高層の大学キャンパス誘致、あるいは高層のホテル誘致を行ってほしい。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
66	旭町・明神町再開発事業	27	産業交流拠点施設ができるので、旭町・明神町再開発にはラグジュアリーホテル誘致を希望する。新しい客層の確保につながると考える。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
67	中心市街地の芝地	28	「全国都市緑化はちおうじフェア」の際に一部の市民から富士森公園の芝地を憩いの場として残してほしいとの意見があったことから、東京都が開発する産業交流拠点や市が開発する医療刑務所跡地などの用地に中心市街地へ来た市民がよって休むことのできる芝地の整備を促していく。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
68	ヒートショック対策の表記	28	国の「住生活基本計画」において、「高齢者が自立して暮らせる住生活の実現」の中で、「住宅のバリアフリー化やヒートショック対策を推進する」と記載されている。今後、高齢者が安全に安心して生涯を送ることができるための住宅の改善・供給に向けた基本的な施策と位置付けられているため、施策の展開において、住宅のバリアフリー化の後に「ヒートショック対策」を追記し、「住宅のバリアフリー化やヒートショック対策を推進するなど、誰もが安心して快適に暮すことのできる住宅・居住環境の整備に取り組みます。」とすることを提案する。	ヒートショック対策の推進については、誰もが安心して快適に過ごすことができる住宅・居住環境の整備の一環として、個別事業（居住環境整備補助事業）において、取り組んでいます。施策 28「誰もが快適なまちづくり」の施策の展開にある「住宅のバリアフリー化を推進するなど」の表記には、ヒートショック対策の推進も包含しているため、原案どおりとします。
69	地震等災害時の自治体と町自連の協力と作業分担の確立	30	大規模地震の発生は、地域のことをよくわかっている町会・自治会の集まりである町自連が大きな働きをしようと思う。現在、町会・自治会で行われている防災訓練の効果には疑問がある。その点から、	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。

			震度6強発生を想定して、自治体と町自連とで話し合い、町会と町自連の出来ることを検討して、フローチャートなどを使ったわかりやすいものを作ってほしい。	
70	防災意識の醸成	30	地域コミュニティの活性化並びに防災意識の醸成、女性の活躍を実現させるために、地域女性防災リーダー育成を実施し、地区防災の意識向上に寄与する。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
71	多摩都市モノレール八王子ルート	34	多摩都市モノレール八王子ルートの議論が十分であるとは言えない。施策の展開として書き込むだけの議論が成熟しているとは思えない。	国土交通大臣の諮問機関である交通政策審議会が公表した答申に、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」のひとつとして八王子ルートが挙げられています。現時点では、八王子ルートの認知度が低いと啓発活動を進めていくべきと考え、施策34「都市間交通網の整備促進」の施策の展開で示しています。
72	多摩都市モノレール八王子ルート	34	八王子駅と南大沢駅を繋ぐ南回りのモノレールの早期建設を希望する。モノレールが中心駅の八王子駅に繋がることで、八王子郊外から八王子駅に出る動線が確保され、八王子駅に人が集まるようになり、中心市街地活性化に大きく寄与する。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
73	国道16号（東京環状）の2車線化	34	万町から橋本までの国道16号（東京環状）は片側1車線だが、渋滞解消のため、八王子市が国に働き掛けて片側2車線化すべき。	いただいたご意見は、関連所管で情報共有し、引き続き国への働きかけを行います。
74	八王子駅の改善	34	八王子駅は増築を重ね、不便で古いため、JRと協力して八王子駅更新を希望する。また、橋本がリニア駅になるので、乗り換えの利便性考慮やエキナカ商業施設新設も行ってほしい。	いただいたご意見は、関連所管で情報共有し、JRへの情報提供を行います。
75	産業振興の体制強化	36	施策の展開に「広域的な交流を活かした産業支援、情報発信、異業種交流をすすめるために、都が建設する産業交流拠点の整備に合わせ、産業活性化につながる環境整備をすすめます。」とあるが、「環境整備」という意味がわかりづらい。市は産業・経済交流課を新設し、産業交流拠点の活用をはかり、	都が整備する産業交流拠点（仮称）は、計画段階から施工段階に移り、市としても具体的な活用を検討を進めています。環境整備には、産業支援機関との連携強化やMICE戦略の推進とそのための体制強化を含みます。 また、産業交流及び新たな産業の創出等を所掌する組織としては、産

			商業・産業の発展を促進する等、積極的な姿勢を示してもらいたい。	業振興部全体で対応してまいりますので、参考意見とさせていただきます。
76	産業振興の体制強化	36	施策の展開に「産業の活性化やまちづくりに積極的にかかわる人材の発掘・育成に努めます。また、リーダーとなる人材の育成や人的ネットワークの形成をすすめます。」とあるが、改定前と変わっていない。現在、企業の人材不足や後継者不足が発生している。このため、人材育成や科学技術の推進のため教育機関の充実が必要である。市立の八王子総合科学高校の新設計画等を検討する必要がある。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
77	企業支援	37	目標設定は、累積企業数ではなく単年度の増加率を見られるようにする、また小規模事業者への融資件数なども小規模事業所が多い八王子にとっては、適切な指標であると考えている。	市外からの新規誘致に限らず市内企業の事業施設の拡張や設備導入も立地支援の対象としています。市内企業においては、各企業の事業展開に応じて支援制度を複数回利用して事業の拡大に繋げている場合もあることから、各年度の増加率を比較することは適切ではないと判断し、累積の支援実績を指標としています。
78	「八王子ふれあい市」(仮称)の提案	41	世田谷区の「世田谷ポロ市」では約20万人が訪れ、町が活気を帯びる。八王子市でも「八王子ふれあい市」(仮称)を実施したら良いと思う。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
79	集いの場の整備	41	シネコン建設やアウトレットモール誘致を望む。また、駅周辺にコンベンション施設建設の予定があるが、東京周辺のコンベンション施設事情を考えると、そのニーズも少なからずあり、特に国際大会や大規模な研究学会などが行える場所を持つことは重要。うまく運用していくために、営利関係ではない利用には補助金を出すなどして、質の高い利用を促し、会議の地としての名を挙げるという手もあるかと思う。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
80	シネコンの誘致	41	中心市街地活性化に役立ち、「来八者」の滞留時間の延長にも繋がるため、八王子駅周辺にシネコンを誘致してほしい。ぜひ八王子駅	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさ

			南口に建設中の商業施設への誘致を行ってほしい。	させていただきます。
81	高尾山登山者の周辺への誘導	41	緑は高尾山だけではない。高尾山に溢れる来場者を高尾山周辺へ分散、誘導するための施策が必要だと思う。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
82	高尾山周辺の宿泊施設	41	高尾山は年間 300 万人が上る登山者数世界一の山だが、周りに宿泊施設がない。高尾山にラグジュアリーホテルか観光ホテルの建設を行ってほしい。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
83	環境を守るための意識の醸成	43	目標設定「環境に配慮している市民の割合」を聴いても、それが施策の評価に直結するものではない。体験学習、里山保全活動など具体的な活動参加者数を指標とすべき。	現行指標は、施策 43「環境を守るための意識の醸成」の目指す姿にある「自然とのふれあい」や「大人も子どもも環境を守る」行動をとっているかをあらわすものとして設定しています。
84	里山サポーター育成講座	44	この講座は、大変良い講座なので、回数を増やして継続してほしい。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
85	森林・里山保全	44	里山や森林は利用すれば宝の山になる。健全な状態にするため、市は手入れが必要な箇所の調査と、所有者の了解の上、手入れの活動をした人たちの募集と訓練を行い、「森林、里山ボランティア隊」(仮称)を編成して、森林・里山の手入れを行ったらいいと思う。森林や里山で間伐した材は、木炭やシイタケ栽培に利用し、八王子の名産にして販売し、地域活性化と活動団体の運営資金に利用すればいいと思う。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
86	クールラウンジ・ウォームラウンジ	45	家で勉強できない人向けに冷暖房費節約にもつながるクールラウンジやウォームラウンジを作れないか。	基本計画は、取組の方向性を示すものであるため、いただいたご意見については、今後、実施計画や個別計画の策定などにおいて、参考とさせていただきます。
87	地球温暖化対策の推進	45	どれだけ再生可能エネルギーを利用していくのか、ということが問われている。きちんとした目標を持って、その達成度を指標とすべき。目標設定には、再生エネルギー利用可能量や植林などによる	現行指標は、施策 45「地球温暖化対策の推進」の目指す姿にある、地球温暖化対策の基本的な考え方である「CO2排出量抑制」をはかるものとして設定しています。なお、再生可能エネルギーの取組について

			カーボンオフセットの取り組みなどについて導入すべき。	は、個別計画である「環境基本計画」や「地球温暖化対策地域推進計画」で指標としています。
88	自然環境への配慮	48	まちづくりは「まちづくり基本構想」の上位に常に自然環境を置くことを考えなくてはならない時代になってきている。今回の川口の計画は都市決定されたが、生物の移植にあたって特に川口を代表する希少生物の1つも犠牲が出ないように行うこと。	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただくとともに、関連所管で情報共有します。
89	緑の保全	48	大中規模開発が計画される時、最悪決定されたときは失う緑の同面積の緑地を確保することまで考えて緑の資源を守っていくという制度の見直しが必要。	開発等を行う際には、開発区域の規模に応じて、法令に定められた基準に則り、公園、緑地又は広場を設置するよう指導しています。
90	専門用語への対応	-	「地区図書室」と「図書館化」という用語は一般的には理解できないと考える。市民が理解できる表現にしてほしい。	ご意見を参考に、表現を修正しました。
91	専門用語への対応	-	素案には「シティプロモーション」、「かかりつけ医」など、あまり内容が理解されていないと思われる単語が使われている。	専門的な用語には、説明を加えるなど、わかりやすい表記に努めます。なお、「シティプロモーション」は施策3「積極的な市政情報の発信」の現状・課題に、「かかりつけ医」は施策16「地域医療の充実」の現状・課題に内容を掲載しています。
92	中間見直しの範囲	-	今回の改定部分は「基本計画」に絞られており、羅針盤である「基本構想」の内容を維持していることを評価したい。	市政運営の基本的な運営指針である基本構想は年限を定めておらず変更しておりません。今回の改定は、基本計画について計画期間10か年の前半5か年の取組を踏まえて見直しを行いました。
93	これからの5か年に向けて	総論	市制100年を記念した行事について、「全国都市緑化フェア」と「ビジョンフォーラム」しか挙げていないが、「市民提案事業」も記載してほしい。23にも上る市民が提案した事業は、市制100周年を盛り上げる市民力、地域力の発現に他ならない。	ご意見を参考に、文言を追加しました。
94	これからの5か年に向けて	総論	市制100周年記念事業のレガシー（産物）として、「全国都市緑化はちおうじフェア」と「ビジョンフォーラム」が掲げられている。市民感覚では、多数の市民提案事業のうねりのほうが大きく、市外	ご意見を参考に、文言を追加しました。

			への訴求力もあると感じる。「市民提案事業」の記載を強く要望する。	
95	今後の市政運営	総論	直近に迫っている高齢化問題、地域の空き家対策など、市政運営で大きな課題。そのためには若年層が定住したいという明確なビジョンが求められるが、その道筋が見えてこない。行政と市民の議論が不足している。	平成 27 年 10 月に策定・公表した「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、本市の持続的な発展をめざして人口構造の安定化を図ることとしており、若年層の定住化が重要であると認識しております。 具体的な取組としてシティプロモーションを推進しており、自然環境と都市機能が共存した本市の強みを活かし、本市ならではのライフスタイルを発信しています。
96	今後の市政運営	総論	将来に向けて、地域経済を好循環させるための再開発や大規模開発、オリンピックの開催は好循環を期待できると強調されているが、現実を直視して、今後のビジョンやまちづくりを進めてほしい。	いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。